

第25回徳島県芸術祭主催行事

徳島

美術

第46回

県展

会場／徳島県郷土文化会館

主催／徳島県美術家協会・徳島新聞社・
徳島県芸術祭執行委員会

第1期

■書道■

1991年11月16日[土]→21日[木]

第2期

■日本画・洋画・写真・彫塑・美術工芸・デザイン■

1991年11月23日[土]→28日[木]

第46回

〈平成3年〉

徳島県美術展

作品集

日 本 画
洋 画
写 真
彫 塑
美 術 工 芸
書 道
デ ザ イン

主催

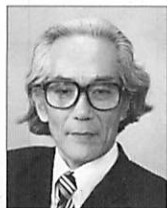
徳島県芸術祭執行委員会

徳島県美術家協会・徳島新聞社

審査員

(敬称略)

①住所 ②所属団体・役職名 ③経歴・受賞歴など。



【日本画】 岩 沢 重 夫

①京都府北桑田郡京北町下小字岩ノ上3-1 ②日展評議員③京都美術専門学校(現京都市芸大)卒、日展特選、京都府文化功労賞などを受賞。



【書道】 近 藤 摂 南

①奈良県生駒市東松ヶ丘10②日展理事③日展審査員歴任、日本芸術院賞、日展内閣総理大臣賞など受賞。



【洋画】 大 森 朔 衛

①東京都府中市新町3 ②行動美術会会員③日本美術学校卒、自由美術協会会員などを経て、現職、前武蔵野美大教授。



【書道】 中 野 北 溟

①札幌市東区北33条東5丁目②創玄書道会常務理事、藤女子大教授③日展特選、毎日書道展大賞など受賞。



【写真】 三 木 淳

①東京都港区白金4、白金マンション301号②日本写真作家協会会長③慶応大卒、日本写真批評家協会賞、日本写真作家協会年度賞などを受賞。



【書道】 東 山 一 郎

①東京都世田谷区代田6 ②日展会員、大東文化大教授③日展、読売書法会各審査員などを歴任、日展特選など受賞。



【彫塑】 峯 田 敏 郎

①東京都田無市芝久保町1 ②国画会会員、上越教育大教授③東京教育大卒、高村光太郎大賞展優秀賞、ロダン大賞展彫刻の森美術館賞などを受賞。



【デザイン】 浅 葉 克 己

①東京都港区南青山3 ②日本グラフィックデザイナー協会理事③東京ADC会員賞、毎日デザイン賞など受賞、日清食品CF「シュワルツェネッガー食べる」制作。



【美術工芸】 山 下 恒 雄

①東京都江戸川区北小岩7 ②日展評議員③東京美術学校(現東京芸大)卒、日展特選、菊花賞、現代工芸内閣総理大臣賞など受賞。

審査員総評

〈写真〉

審査員 三木 淳

(日本写真作家協会会長)



二年続けて三回目の審査に当たった。レベルは毎回、高くなってきている。特に上位に選んだ皆さんの作品は、お世辞じゃなく素晴らしいものばかり。カメラの機能は高度化してきているだけに何を撮るか、どのように表現するかが求められている。技術そのものは未熟であっても、その人の“心”が出ていれば高い評価を与えるよう心がけている。残念ながら賞にもれた人も写真文化向上のため、自分だけの新しいテーマを追い求めてほしい。

徳島新聞社長賞に選んだ富永章子「母子」は、単純な構成だが力強さがある。うなじだけでお母さんと分かるし、そして坊やだろうか、その表情、特に目の輝きがすごい。ドラマチックで素晴らしい出来栄だ。

特選の高藤敬堯「増水」は冠水した道路、父が子供さんをバイクに乗せて連れ帰っているところ。ニュース性と同時に生活感がにじみ出ており、ガラス破片のような水しぶきもよい。松本芳雄の「波紋」は、題材として多いハスを取り上げた。人は美しい花に心ひかれるものだが、時として日本人の心情は枯れてゆくものへも揺れる。暗示的である。

堀淵完治の「城壁の街」は作者が旅した折に撮ったものだろう。ヨーロッパには、こうした中世の石畳が多く残っているが、単に記念撮影に終わっていない。歴史の香りが画面から漂ってくるようだ。

〈彫塑〉

審査員 峯田 敏郎

(上越教育大学教授)



全体的に高水準。作品にもさほど差はなく、当落をつけるのに苦労した。絶対評価であれば全作品を入賞にしてもいいくらいだ。他の県展も見してきたが、徳島はかなり高いレベルに位置していると感じる。高校生をはじめとする若手の作者が目立った。若い人が大きな品評会に積極的に出品するには好感が持てる。将来が楽しみだ。

具象作品が多い印象を受けたが、それぞれモデルをよく観察し堅実に仕上げている。ただ、表面の処理にこだわり過ぎている感が否めない。もっと全体を大きく見て、いい意味でおま

かにとらえることが必要。立体としてのあり方の再考を求める。

四国放送社長賞の西原陽子「向日葵(ひまわり)」は、作者の若々しさが感じられる。素直な表現で非常にのびのびとしている。

井上香二の「憧憬—海—」は、数少ない抽象作品。石の性質をよく生かしており、細々としている中のにんびりさを感じられる。

準特選の蒔田寿「過ぎ去りし日々」は、組み立てがしっかりしている。比較的小さい作品だが、それを感じさせない堂々としたものに仕上がっている。

写真



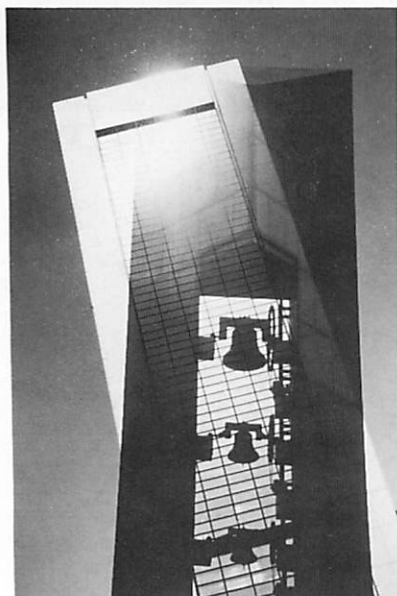
特別出品 散りぬる 福島 正仁

C



招待 湖 増田 清次

C



招待

都市空間

井上 光雄

C



招待 暁暗 木田 英之

C



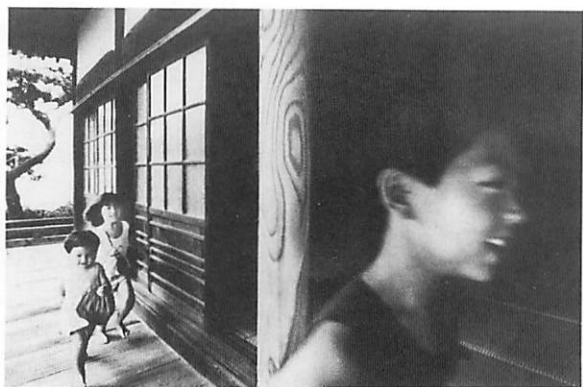
招待 沼の春 西條 征二

C

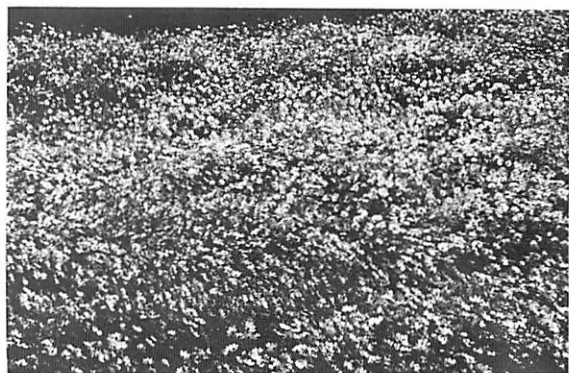


招待 白い秋 勝西 雅夫

C



招待 年の輪 藤井 梵



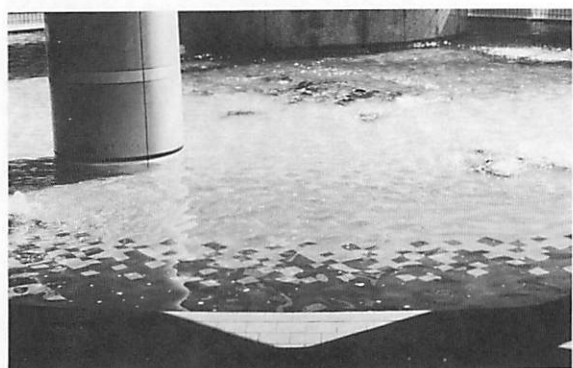
招待 薫風 武内 亨



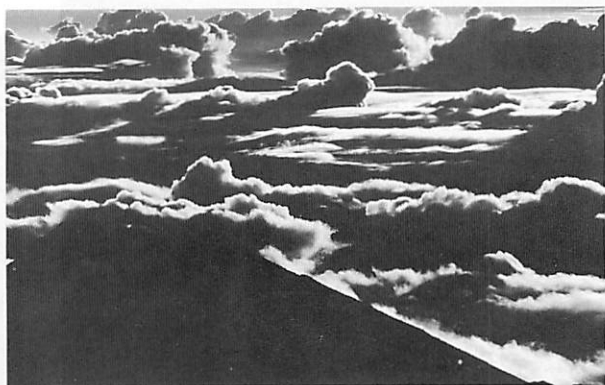
招待 朝陽 笹田 敏雄



招待 砂丘雪景 櫛淵 魏



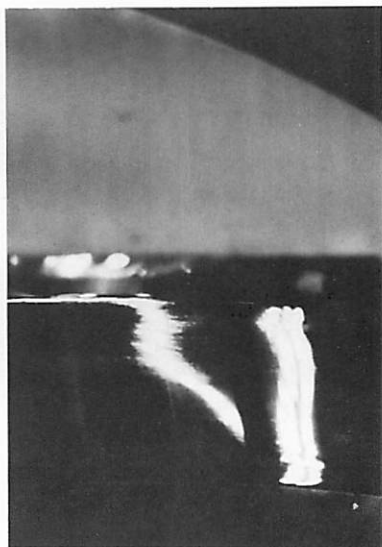
招待 地下新都市 酒井 博司



招待 天上の樂園 三好 和義



招待 祭りの日 上野 照文

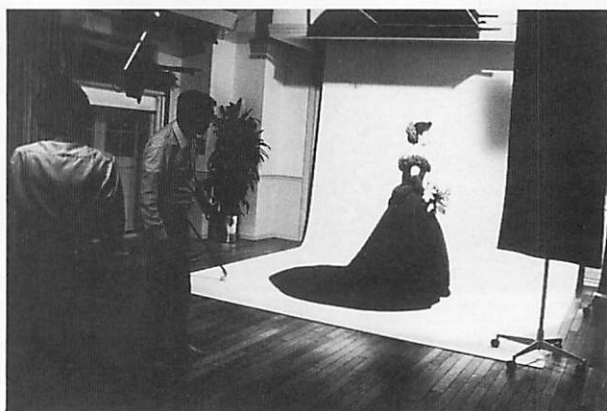


招待 光跡 森 賢一

C



招待 荒天 橋本 圭祐



招待 スタジオF 安長 剛



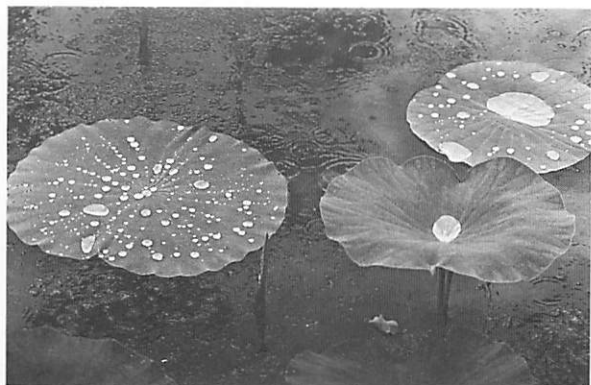
招待 朝 前浦 芳久

C



招待 砂丘 荒井 賢治

C



無鑑査 蓮 多田 晴美



特選・徳島新聞社長賞 母子 富永 章子

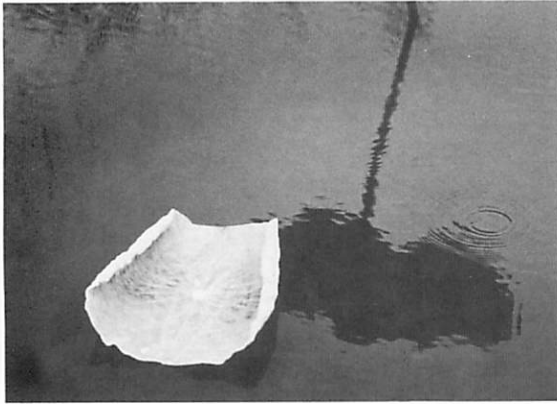


特選 増水 高藤 敬堯

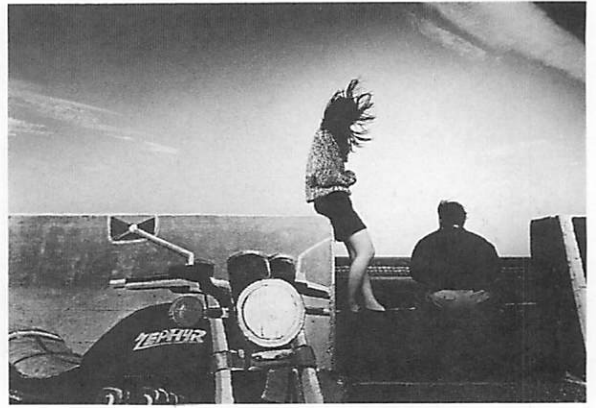


特選 城壁の街 堀渕 完治

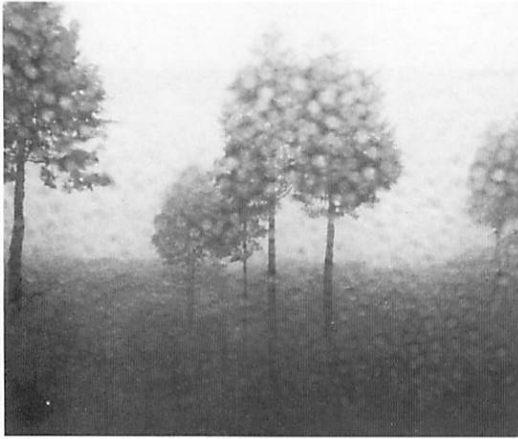




特選 波紋 松本 芳雄



準特選 堤防 大和 健司



準特選 五月雨 宮本 繁広 C



準特選 明日香 柳本 正

C



準特選

ブルーナイト C

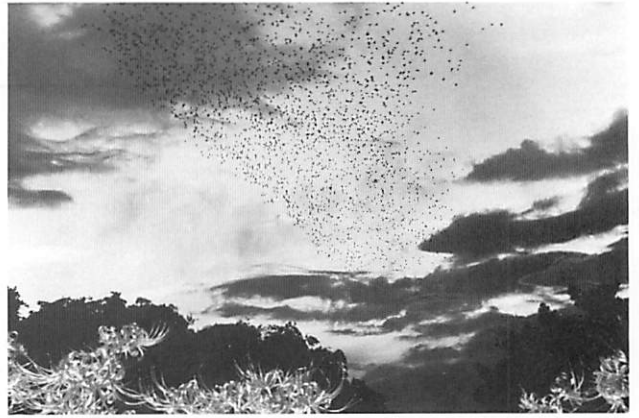
楠本 喜巳



準特選 ラガー 大林 義治



準特選 記念撮影の寸景 井上 翔



準特選 秋の夕暮れ 稲井孝一



準特選 都市の休日 林 敏彦

第46回県美術展出品・入選等状況

区分		部門	日本画	洋画	写真	彫塑	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数			81	320	850	44	125	1,092	117	2,629
人数			74	219	154	33	83	703	87	1,353
入選	率		60.0%	33.8%	18.8%	59.0%	60.0%	45.7%	59.8%	37.5%
	特別賞		1	1	1	1	1	1	1	7
	特選		2	3	4	1	2	6	2	20
	準特選		3	5	8	2	3	13	3	37
	入選		44	100	148	23	70	480	65	930
	計		49	108	160	26	75	499	70	987
落選	率		40.0%	66.2%	81.2%	41.0%	40.0%	54.3%	40.2%	62.5%
	落選		32	212	690	18	50	593	47	1,642
招待等	招待		10	8	17	5	10	36	1	87
	無鑑査		1	1	1			1	1	5
	特別出品			3	1	1		3		8
	賛助作品		6	14		1	1		1	23
	計		17	26	19	7	11	40	3	123
展示数			66	134	179	33	86	539	73	1,110